

# 最近の管内経済概況

(2020年10月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、一部に持ち直しの兆しがみられる。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、下げ止まりの動きがみられる。
- 民間設備投資は、減少している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2020年12月14日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課










T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

# 管内経済概況判断の推移

(2020年12月現在)

発表月	2020年7月	8月	9月	10月	11月	12月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況となっている	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの兆しがみられる</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	
生産活動	急速に低下している	<u>下げ止まりの動きがみられる</u>	下げ止まりの動きがみられる	下げ止まりの動きがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	一部が急速に低下している	<u>一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる</u>	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	
観光	悪化している	<u>一部に下げ止まりの動きがみられる</u>	一部に下げ止まりの動きがみられる	<u>一部に持ち直しの兆しがみられる</u>	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	
公共工事	<u>減少している</u>	<u>増加している</u>	<u>減少している</u>	減少している	<u>増加している</u>	<u>減少している</u>	
住宅建設	低下している	低下している	低下している	低下している	<u>下げ止まりの動きがみられる</u>	下げ止まりの動きがみられる	
民間設備投資	<u>減少している</u>	減少している	減少している	減少している	減少している	減少している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数は同数、負債総額は減少している	件数、負債総額とも増加している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

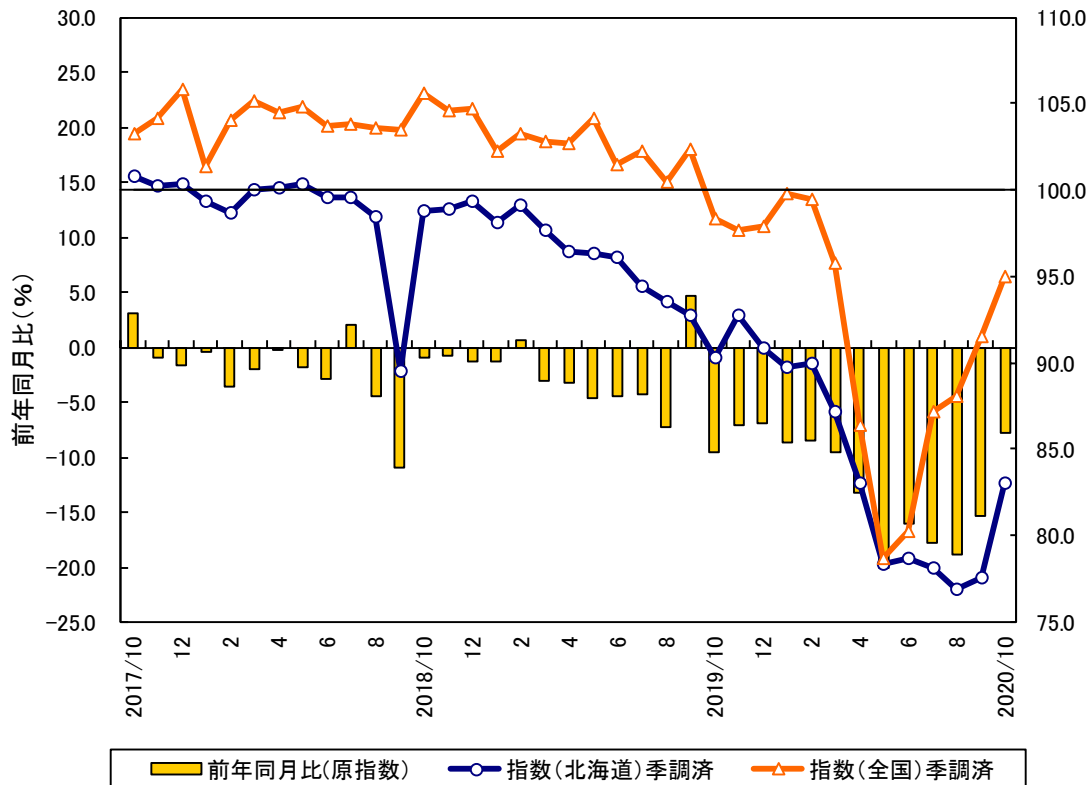
 上方修正  据え置き  下方修正

# 生産活動 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

10月の鉱工業生産は、前月比+7.1%と2か月連続で上昇した。上昇業種は、化学・石油石炭製品工業など13業種となった。低下業種は、パルプ・紙・紙加工品工業など2業種となった。

<10月> 季節調整済指数		
北海道(速報)	83.1	(前月比+ 7.1%)
全国(速報)	95.0	(前月比+ 3.8%)

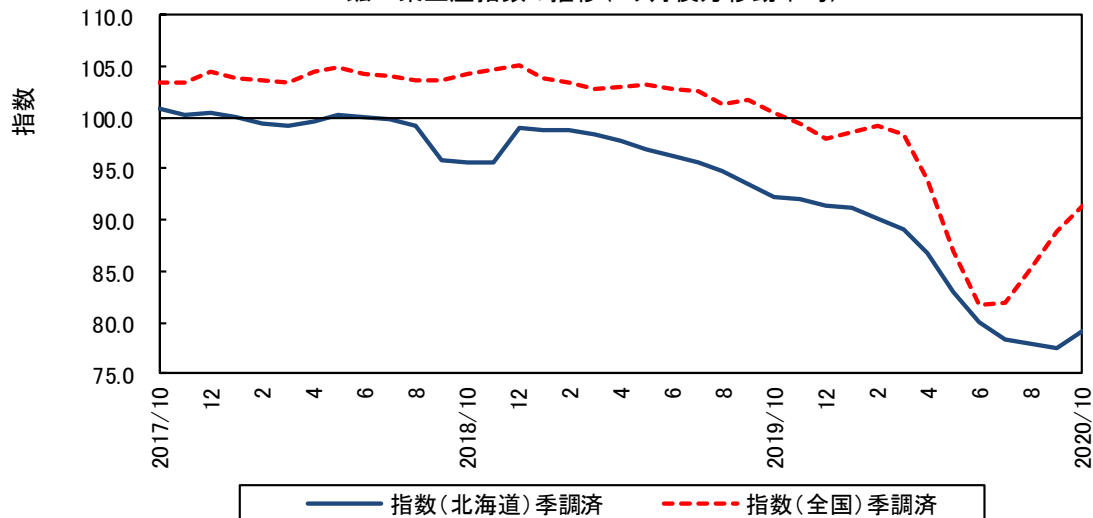
鉱工業生産指数(2015年=100.0)



## 【ヒアリング内容】

- ・大規模な定期修理が終了したことから、石油製品の生産が増加した。(化学・石油石炭製品工業)
- ・年末年始の帰省自粛などにより、贈答品や巣ごもり消費による需要が例年より多くなると見込んで、塩蔵品の生産が増加した。(食料品工業)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、春先の定期修理が十分に行えなかったため、再度生産設備の修理を実施したため、印刷用紙の生産が減少した。(パルプ・紙・紙加工品工業)
- ・自動車産業の回復に伴い、特殊鋼棒鋼などの生産が増加した。大規模な改修も終了したことから、今後も生産量は上向いていく見込み。(鉄鋼業)

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)

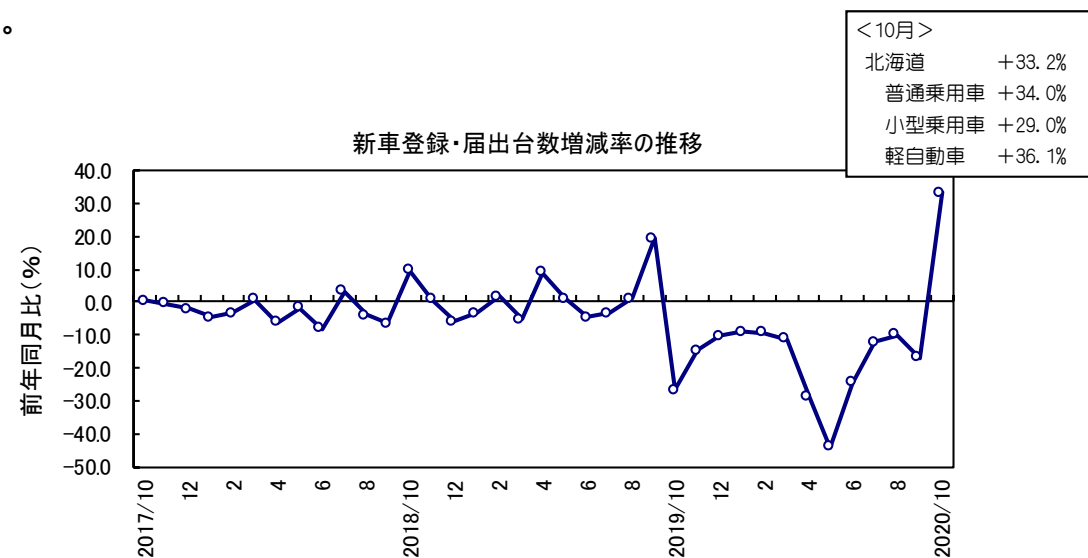
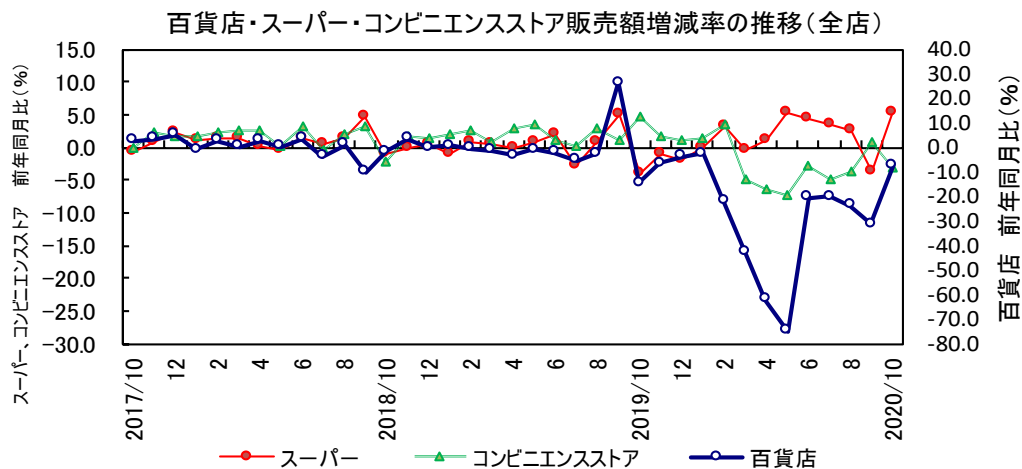


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

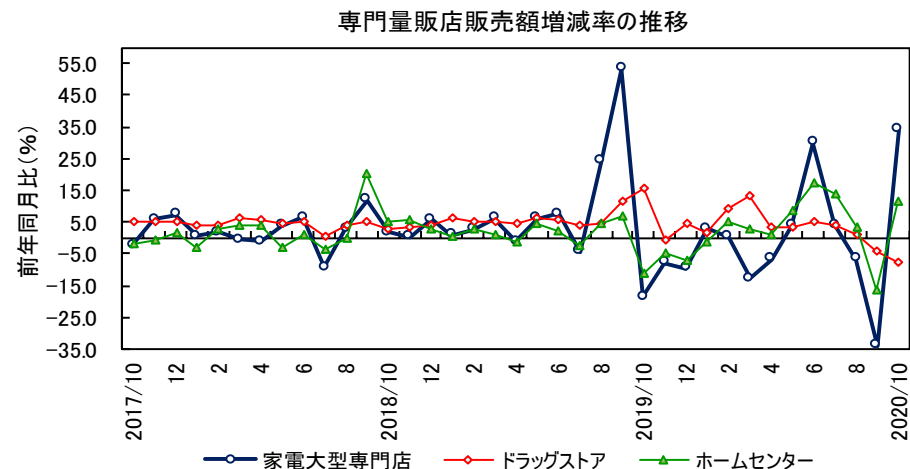
# 個人消費 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

10月の個人消費は、百貨店、コンビニエンスストア、ドラッグストアは前年を下回ったものの、他の業態は前年を上回った。

- 百貨店は、外出の自粛傾向などにより、前年同月比▲7.4%と13か月連続で前年を下回った。
- スーパーは、内食需要の継続から、飲食料品が堅調だったことなどにより、同+5.3%と2か月ぶりに前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同▲3.1%と2か月ぶりに前年を下回った。
- 家電販売は、同+34.1%と3か月ぶりに前年を上回った。ドラッグストアは、同▲7.5%と2か月連続で前年を下回った。ホームセンターは、同+11.3%と2か月ぶりに前年を上回った。
- 新車販売は、同+33.2%と13か月ぶりに前年を上回った。



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)



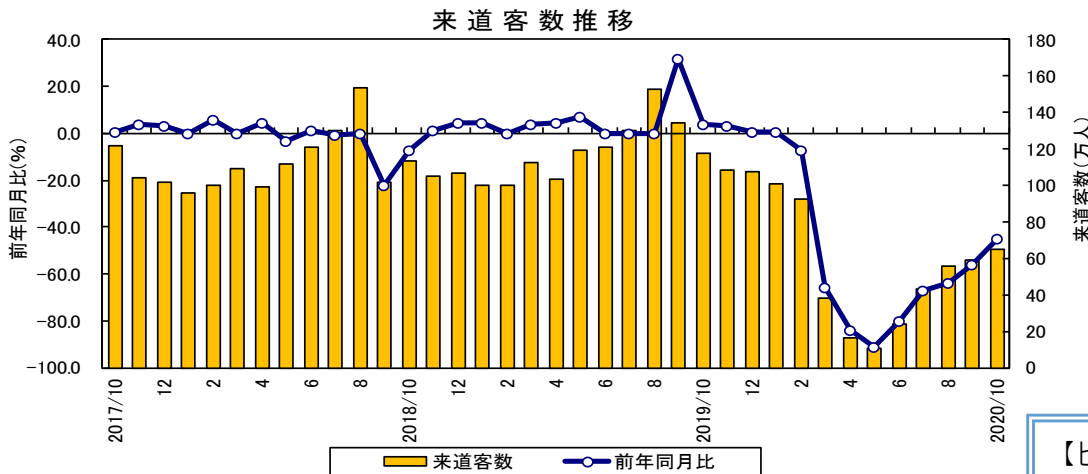
(資料：北海道経済産業局)

## 【ヒアリング内容】

- 内食需要の継続により、生鮮食品が好調。また、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルがステージ2に引き上げられたことにより、パスタやインスタント麺など保存のきく食品を1品多めに買う動きがみられた。(スーパー)
- 前年に需要の前倒しにより大型家電の売上が落ちていたことから、その反動で売上が大きく伸びた。(家電大型専門店)
- 新型コロナウイルス感染防止対策用品として、加湿器が前年の2倍以上の売れ行きとなった。(ホームセンター)
- G o T o トラベルキャンペーンの効果で、ホテル近隣の店舗に回復の動きがみられたが、警戒レベルの引き上げにより、足下では厳しい動きとなっている。(コンビニエンスストア)

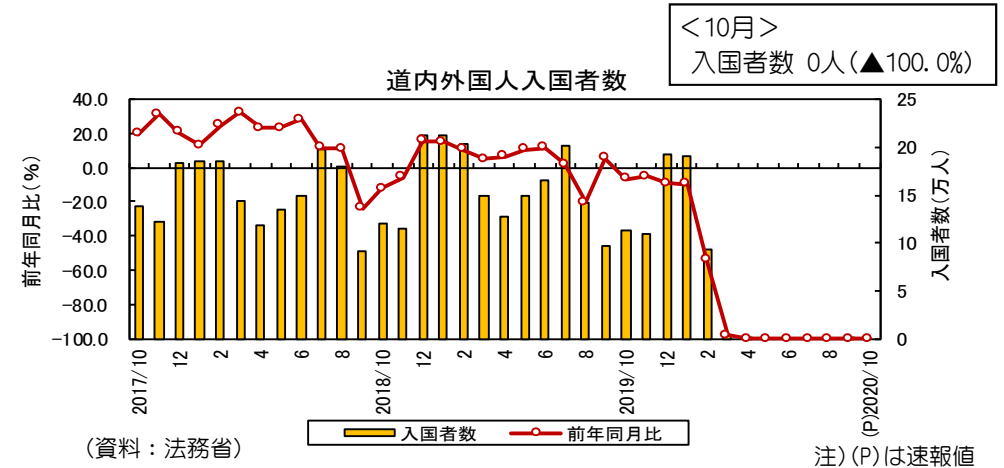
# 観光 ～ 一部に持ち直しの兆しがみられる ～

10月の来道客数は、前年同月比▲45.1%と9か月連続で前年を下回った。また、道内外国人入国者数は、0人で同▲100.0%と13か月連続で前年を下回った。



<10月> 来道客数 646,377人 (▲45.1%)  
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)



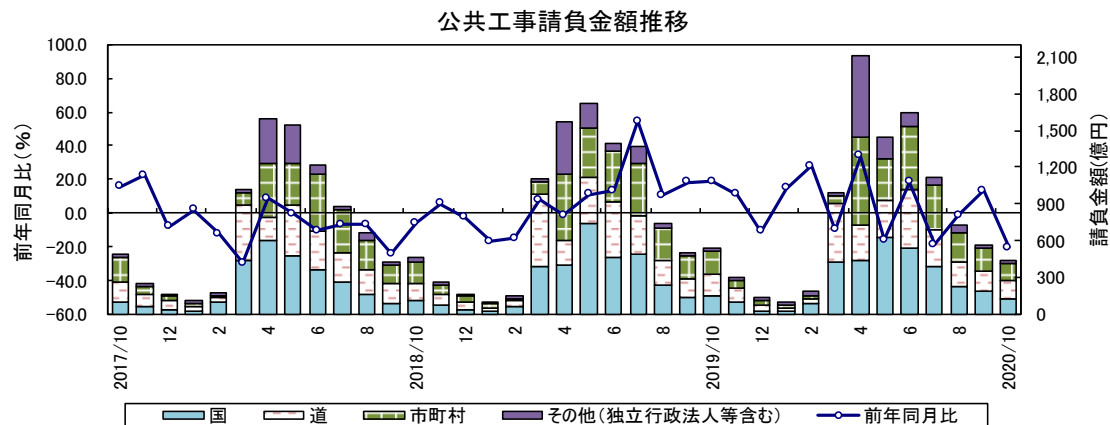
(資料：法務省)

## 【ヒアリング内容】

- ・10月は、紅葉の見頃でもあり、地元客が多く見られた。また、GoToトラベルキャンペーンなどの効果もあり、入込客数は前月よりも多かった。(関係機関)
- ・11月上旬に北海道の新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが引き上げられると、宿泊予約のキャンセルが出始め、先行きは不透明となっている。(関係機関)

# 公共工事 ～ 減少している ～

10月の公共工事請負金額は、国、道、市町村の全てで前年を下回り、前年同月比▲20.5%と2か月ぶりに前年を下回った。



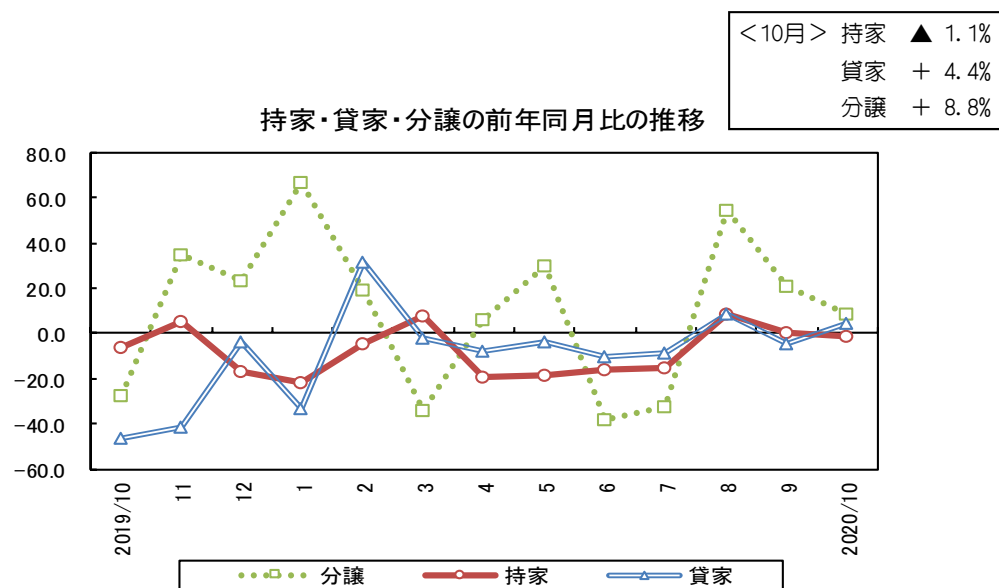
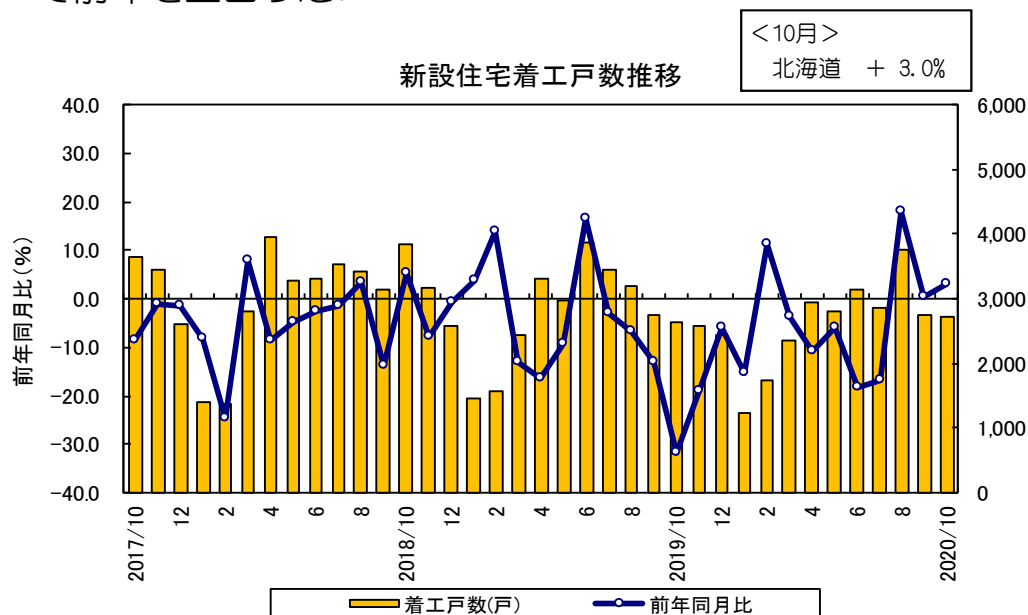
<10月>  
 北海道 ▲20.5%  
 (内訳)  
 国 ▲14.5% 道 ▲13.2% 市町村 ▲31.5% その他 ▲18.3%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 下げ止まりの動きがみられる ～

10月の新設住宅着工戸数は、持家は前年を下回ったが、貸家と分譲が前年を上回り、前年同月比+3.0%と3か月連続で前年を上回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 減少している ～

2020年度の設備投資計画は、全体で前年度比▲8.8%と4年ぶりに前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2020年10月1日発表

	2019年度	2020年度計画
北海道	+ 14.6%	▲ 8.8%
製造業	+ 17.7%	+ 8.8%
非製造業	+ 13.2%	▲ 17.3%
全国	▲ 0.6%	▲ 2.7%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2020年9月11日発表

	2019年度	2020年度
全産業	+ 17.8%	▲ 3.3%
製造業	+ 27.1%	▲ 9.4%
非製造業	+ 13.6%	+ 0.6%

※数値は対前年比増減率。

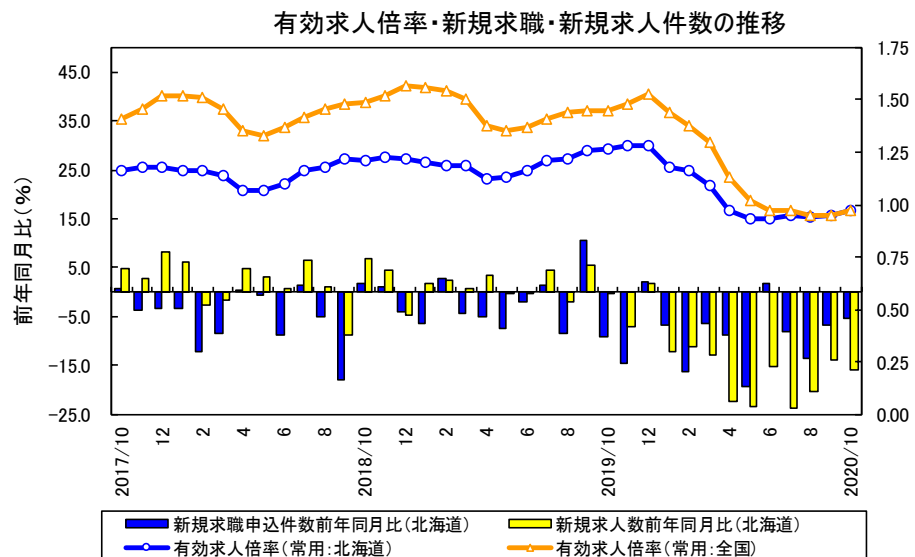
注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)



# 雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

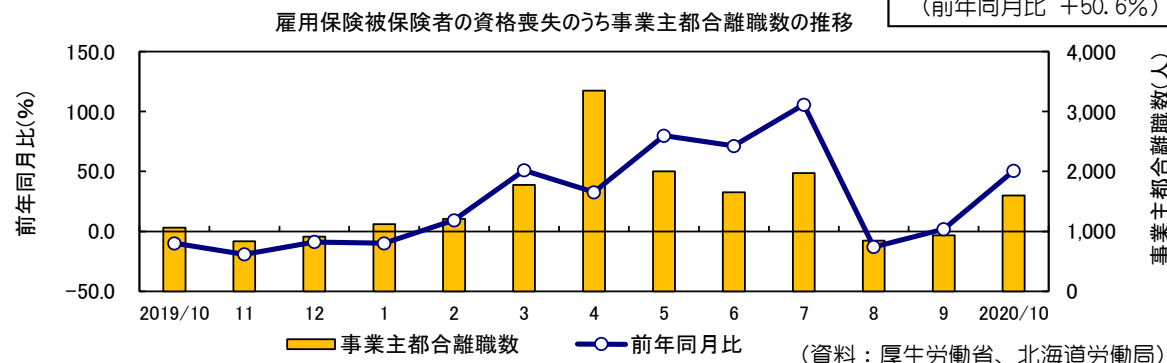
10月の有効求人倍率は、0.97倍と前年同月差0.30ポイント減少し、10か月連続で前年を下回った。



<10月>

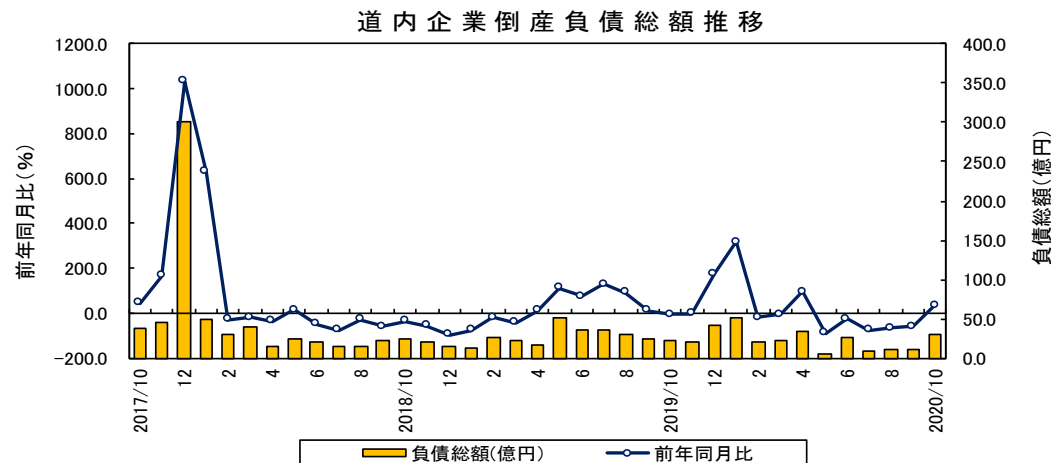
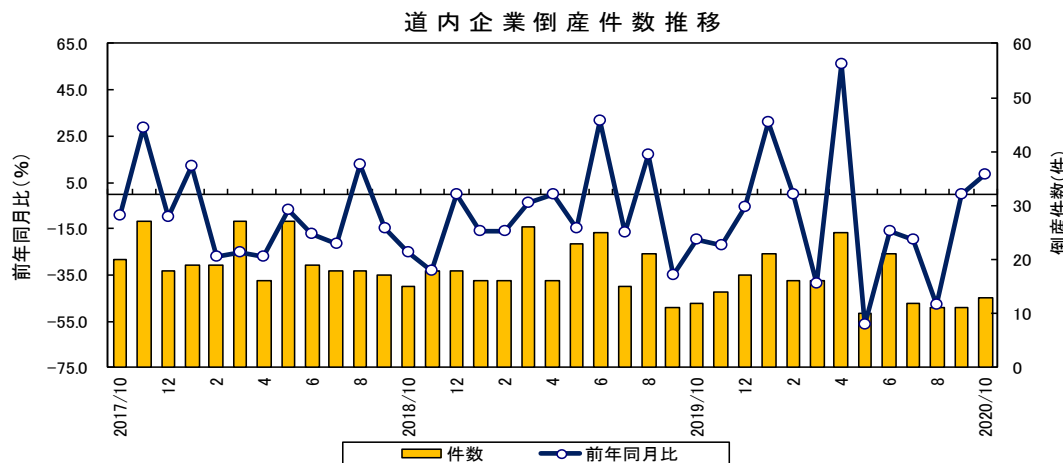
北海道	有効求人倍率 (常用)	0.97倍
	新規求人数 (前年同月比)	▲15.9%
	新規求職申込件数 (前年同月比)	▲5.5%
全国	有効求人倍率 (常用)	0.97倍

<10月>  
事業主都合離職数 1,601人  
(前年同月比 +50.6%)



# 企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加している ～

10月の倒産件数は13件で前年同月比+8.3% (1件増)、また、負債総額は30.6億円で同+34.5%と、いずれも6か月ぶりに前年を上回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)